

2023年(令和5年)7月27日(木曜日)



フェロテックホールディングス

フェロテックホールディングスは、半導体・自動車市場を中心にグローバルに展開する部品メーカーだ。

半導体製造装置関連事業では、半導体製造装置向けの治具・消耗材に使用されるマテリアル製品(石英、シリコン、セラミックス、CVD-SiC)、真空シール・金属加工、部品洗浄サービスなどを展開。電子デバイス



賀 社長

事業では、磁性流体、

サーミスター、サーモモジュール、パワー半導体用基板などを手掛けている。

昨年初めに生産拠点を

り、リスク分散とともに、人材を集めやすく「なる」と話す。

日本では、岡山工場

のCVD-SiC生産強化のほか、石川では第2工場が2022年11月に竣工(しゅんこう)、第3工場の建設

では、まず装置部品洗浄事業と石英製品の二つの事業を立ち上げ

る(賀社長)。

海外では、マレーシア工場が今年10月に竣工予定で、セラミック

重要なのは人材。それが当社の将来の成長につながる(賀社長)。

22年度は大幅な増収

増益となり過去最高を更新した。23年度もパワーデバイス(パワー半導体用基板)や石英

CVD-SiC生産を強化

パワーデバイス 重点5分野に力

の分散化の方針を打ち出し、生産の日本回帰

方針も発表した。

賀賢漢代表取締役社長兼グループCEOは

「製造戦略の考え方

は、従来のように中国

のみに集中せず、多様化させる。これにより

予定している。「熊本

の体制にしたい。最も

も決めた。ファイナセ

ラミックスの増産を進

める。首都圏では、金

熊本新工場(熊本県

究所があり、約300

るが、「日本でも今後

場を開設することを決

開発力の強化も図

る。中国には三つの研

究所があり、約300

るが、「日本でも今後

3年ぐらいをかけ、開

発人員を100人程度

ビジネスが活況となっ

し、増収を確保する見込みだ。

パワーデバイスは重

点5分野に①EV②グ

リーンエナジー③鉄道

関連④データセンター

⑤医療機器を掲げる。

現在は中国3工場で生

産しているが、新たに

マレーシア南部に新工

場を開設することを決

めた。石英るつばはグ